第3期中期目標（素案）のパブリックコメント実施結果について

前橋工科大学第3期中期目標の策定に当たっては、中期目標（素案）を公表し、それに対する意見を広く募集しました。パブリックコメントでいただいたご意見については、以下のとおり市の考え方を整理するとともに成案の策定に活用しました。

(1) 意見募集期間

令和6年5月21日（火）～令和6年6月18日（火）

(2) 意見提出者数及び意見数

3人、5件

No.	種類	内容
1	意見	メンタルヘルスについては、専門家による対応が必要となることは容易に想像ができますし、企業や子供向けイベントの実施についても、当然のことながら、人的、金銭的裏付けが必要となる事が想像されますが、これらの追加された目標に対しては、前橋市として十分な予算措置を行うことを前提として追記されたのでしょうか。
	市の考え方	予算については、毎年前橋工科大学と調整の上行っており、必要に応じた予算措置をします。 法人は、中期目標の達成のために中期計画を定めて事務を進めることとなりますが、その達成に向けた予算としての是非を審査します。
	該当項目	全ての学生が安心して学生生活を送れるように、履修、学習、メンタルヘルスに関する学生支援を充実させる。
2	意見	項目を追加する一方で、限られた財源と人的資源で効率的な大学運営を図る旨の文言が追加されていることから、大学側に対して過度な負担を強いることとはならないのか心配です。
	市の考え方	限られた財源と人的資源による効率的な大学運営とは、適切な人員配置、職員の育成等を求めるものです。 中期目標を基に法人が中期計画を作成することとなりますが、法人の業務が過度な負担とならないような中期計画であることを確認し、認可することとします。
	該当項目	社会情勢の変化や時代のニーズに柔軟に対応しつつ、簡素で効率的な業務運営が図れる組織体制を構築する。また、職員的能力向上に努め、限られた財源と人的資源で効率的な大学運営を図る。

3	意見	<p>基礎的な教育力の強化が必要だと考えています。地域の受験生を中心に、これまでに多くを受け入れてこなかった層も含め、広く工学を志す多様な受験生を受け入れ、様々なものを創り出すこと、そのために考えること、の楽しさを伝え、個々の学生に足りない基礎学力があればそれらを身に付けながら、若い力を伸ばし、前橋工科大学に多彩な専門教育課程を経て、社会の役に立てる人材を育てていくことのできる環境の充実に力を注ぐ必要があると思います。</p>
	市の考え方	<p>前橋工科大学は、人間性及び創造性豊かな技術者の育成を目標としています。そのための教育環境の整備は必須であることから、大学と共により良い教育環境の整備に努めます。</p>
	該当項目	<p>教員の教育力の向上を目的とした研修等の取組を、組織をあげて積極的に実施する。</p>
4	意見	<p>メンタルヘルスは学生生活において無視することのできない重大な要素です。現在前橋工科大学では医師や臨床心理士によるメンタルヘルス相談などを行っていますが、かなり気が減入っているときはそれらについて視点が向かない・敷居が高いといった考え方になり、また、予約を入れる必要や間隔が開くため即時の対応が求められない場合があり、その辺りに窮屈さを感じます。ですが、仕組み自体は素晴らしく効果的なものであると考えているので、これらに加えより手軽にまた些細な相談を話したいときにできるような仕組み・施策などがあると心強く感じられるので、当該項目に対してメンタルヘルスを目標内で分離し単一の項目とし「学生のニーズに応えられるようなサポートの提供」といったものを検討していただけないでしょうか。</p>
	市の考え方	<p>学生支援については、学生が使いやすいものである必要があるため、充実させるといった表現に改めました。 一方、目標の一つとして独立させることについて、メンタルヘルスが重要な内容であると認識していますが、目標を細分化させることにより目標が膨大な分量になることを避けるため、学生の支援として項目をまとめています。</p>
	該当項目	<p>全ての学生が安心して学生生活を送れるように、履修、学習、メンタルヘルスに関する学生支援を充実させる。</p>
5	意見	<p>今期から職員の人事評価制度の運用といった内容が追加されていますが、これは非常勤講師や有期雇用契約の職員などにも適用されるのでしょうか。同目標内別項目を鑑みたとき、必要かつ限られた人員で効率的な大学運営を執り行うといった内容ですが、先に挙げた非常勤講師等に対してもそれらの評価を行うことで契約の改更を行うなどといった、「教職員に対しても柔軟な対応やニーズに応えられる環境作りを行うなどの制度を整える」といった項目があっても良いのではないのでしょうか。</p>
	市の考え方	<p>人事評価の対象者については、大学において決めることとなりますが、働きやすい環境の整備は必要と考えております。なお、環境作りについては、別項目の社会情勢の変化や時代のニーズへの対応に含まれるものと考えています。</p>
	該当項目	<p>職員の人事評価については、職員の業績又は能力を総合的に評価することができる制度とし、適切に運用する。 社会情勢の変化や時代のニーズに柔軟に対応しつつ、簡素で効率的な業務運営が図れる組織体制を構築する。また、職員の能力向上に努め、限られた財源と人的資源で効率的な大学運営を図る。</p>